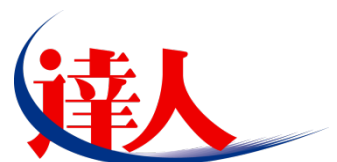


法人税の達人(平成21年度以降)

from弥生会計(Ver.23.0.1以降) 運用ガイド

この度は、「法人税の達人(平成21年度以降) from弥生会計(Ver.23.0.1以降)」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「法人税の達人(平成21年度以降) from弥生会計(Ver.23.0.1以降)」は、弥生株式会社の「弥生会計」の会計データを「法人税の達人」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「法人税の達人(平成21年度以降) from弥生会計(Ver.23.0.1以降)」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール方法	5
パターン①「達人Cube」からアップデートする場合	5
パターン②「達人」オフィシャルサイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
パターン①「弥生会計」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	11
パターン②「弥生会計」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	12
5.操作方法	13
パターン①「弥生会計」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	13
パターン②「弥生会計」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	21
6.連動対象項目	29
「弥生会計」から連動するデータ(連動元)	29
「法人税の達人」に連動するデータ(連動先)	30
貸借対照表	32
損益計算書	33
製造原価報告書	34
株主資本等変動計算書等	35
7.アンインストール方法	37
8.著作権・免責等に関する注意事項	38

1.対応製品

「法人税の達人（平成21年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）」に対応するNTTデータの対応製品及び弥生の対応製品は以下のとおりです。

対応製品	対応アプリケーション
NTTデータ対応製品	法人税の達人（平成21年度版） Professional Edition 以降
	法人税の達人（平成21年度版） Standard Edition 以降
弥生対応製品	弥生会計 17 AE
	弥生会計 17 スタンダード
	弥生会計 17 プロフェッショナル
	弥生会計 17 プロフェッショナル 2 ユーザー
	弥生会計 17 ネットワーク

2.動作環境

「法人税の達人（平成21年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）」に必要な動作環境は「1.対応製品」（P.3）に記載の「弥生対応製品」と同様です。また、インストールにはハードディスクの空き容量が20MB必要です。



注意

「法人税の達人（平成21年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）」のプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」（P.3）に記載の「弥生対応製品」のいずれかがインストールされている必要があります。

3.インストール方法

「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と、「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。



注意

インストール作業中に [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されることがあります。その場合は [はい] ボタンをクリックして作業を進めてください (必要に応じてパスワードを入力します)。

パターン①

「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



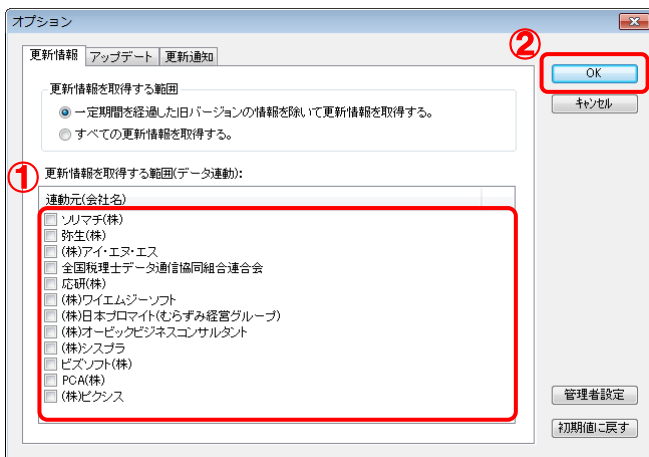
[アップデート] 画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブー[更新情報を取得する範囲(データ運動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



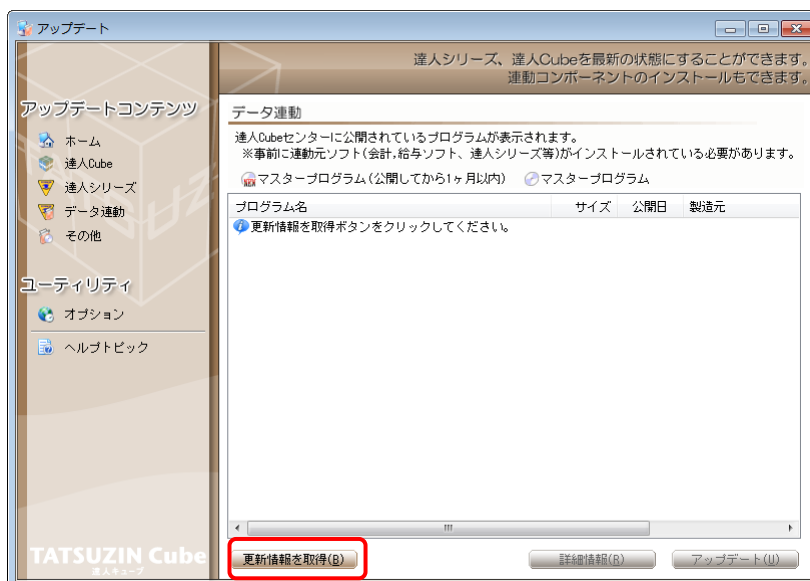
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



[データ連動] 画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[弥生シリーズセットアップ] 画面が表示されます。

7. [インストール開始]ボタンをクリックします。

[使用許諾契約] 画面が表示されます。

8. 使用許諾契約書の内容を確認し、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します。]をクリックしてチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の選択] 画面が表示されます。

9. [次へ]ボタンをクリックします。

[プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。

10. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

11. [弥生シリーズセットアップ]画面に戻ったら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人(平成21年度以降) from弥生会計(Ver.23.0.1以降)」のインストールは完了です。

パターン②

「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動会計・給与ソフトのページ
(<http://www.tatsuzin.info/rendousoft/>)を開きます。



2. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。

該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。

3. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。

画面の一番下に通知バーが表示されます。

4. [保存]ボタンの右端にある[▼]ボタンをクリックし、表示されるメニュー[名前を付けて保存]をクリックします。

[名前を付けて保存]画面が表示されます。

5. [保存する場所]を指定し、[保存]ボタンをクリックします。

[保存する場所]に指定した場所に、ファイルがダウンロードされます。

- 6.** 手順5でダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
[弥生シリーズセットアップ] 画面が表示されます。
- 7.** [インストール開始]ボタンをクリックします。
[使用許諾契約] 画面が表示されます。
- 8.** 使用許諾契約書の内容を確認し、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します。]をクリックしてチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。
[インストール先の選択] 画面が表示されます。
- 9.** [次へ]ボタンをクリックします。
[プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。
- 10.** [インストール]ボタンをクリックします。
インストールが開始します。
- 11.** [弥生シリーズセットアップ]画面に戻ったら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人（平成21年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）」のインストールは完了です。

4.運用方法

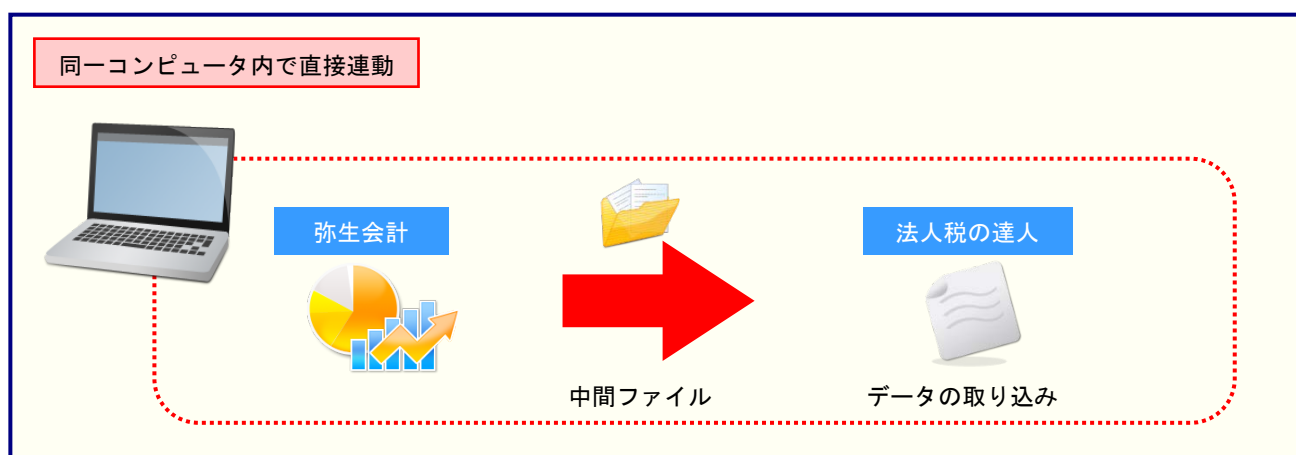
「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)」は、「弥生会計」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「弥生会計」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

「弥生会計」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

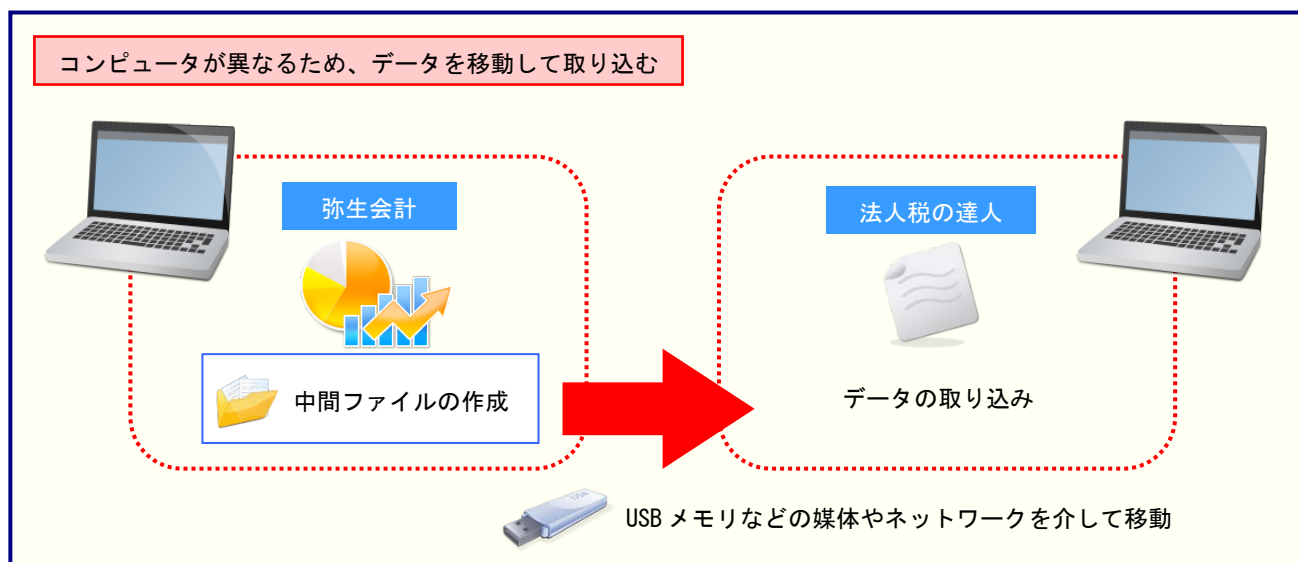
「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)」で作成された中間ファイルを直接「法人税の達人」に取り込みます。



パターン②

「弥生会計」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

「弥生会計」がインストールされているコンピュータで中間ファイルを作成し、「法人税の達人」がインストールされているコンピュータで取り込みます。



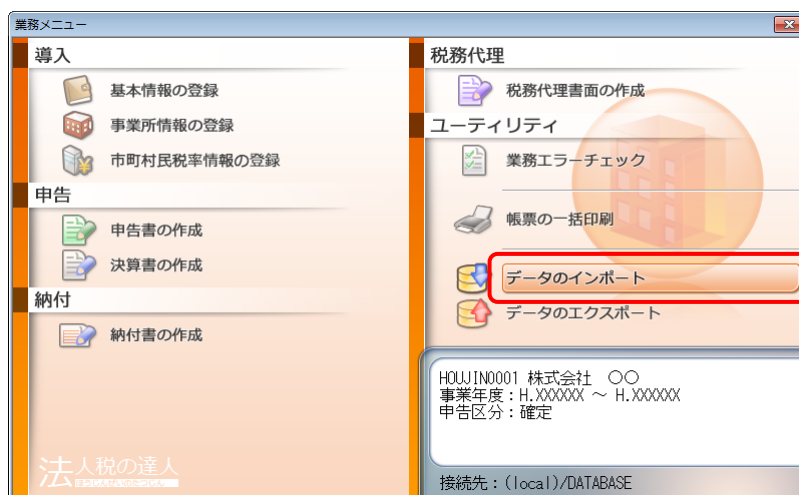
5.操作方法

「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)」を使って、以下の手順で連動します。事前に「6.連動対象項目」(P.29)を必ずお読みください。操作手順は、「弥生会計」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

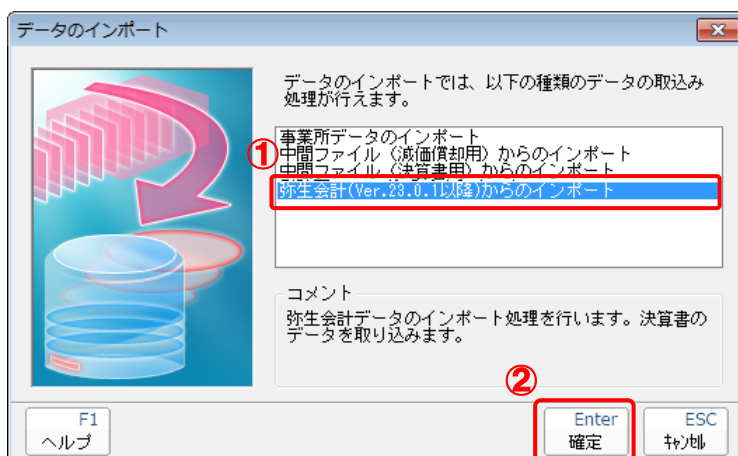
「弥生会計」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

1. 「法人税の達人」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



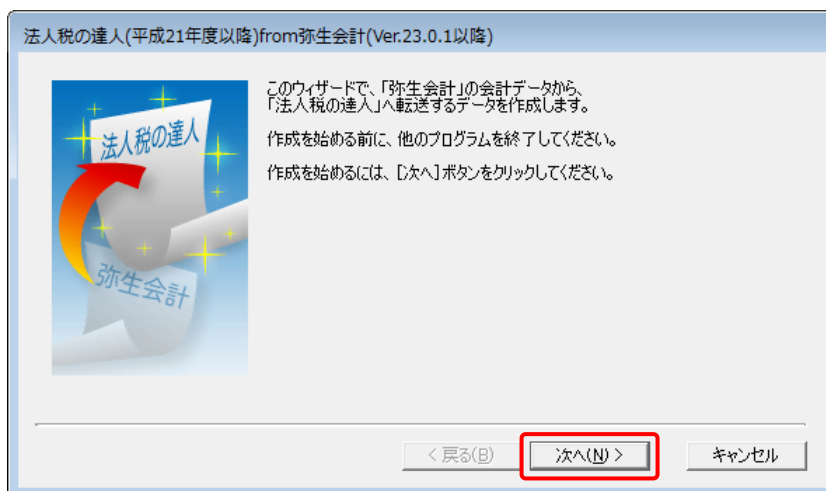
[データのインポート] 画面が表示されます。

2. [弥生会計(Ver.23.0.1以降)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



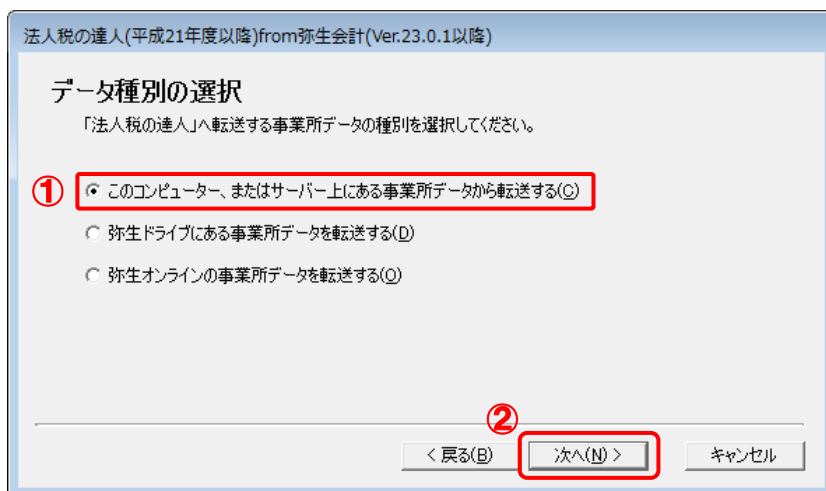
[法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)]画面が表示されます。

3. [次へ]ボタンをクリックします。



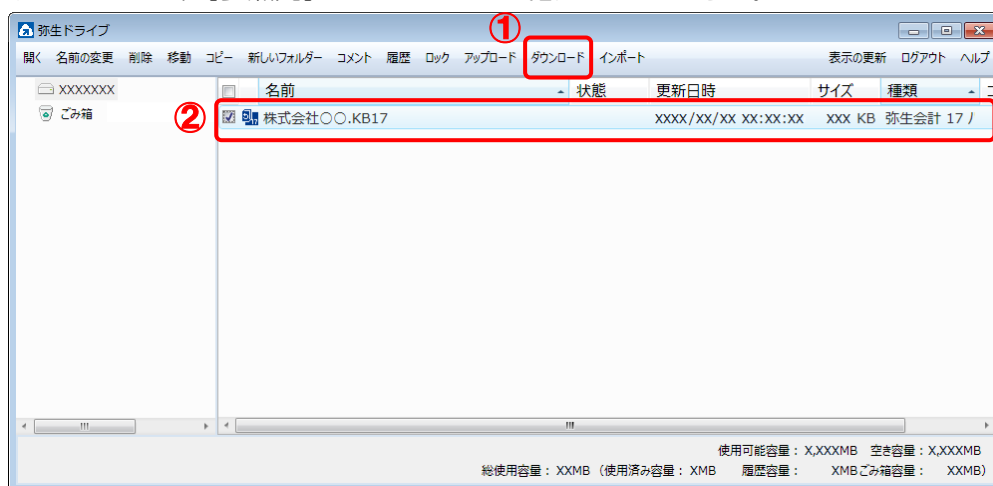
[データ種別の選択]画面が表示されます。

4. [このコンピューター、またはサーバー上にある事業所データから転送する]をクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



[データの選択] 画面が表示されます。

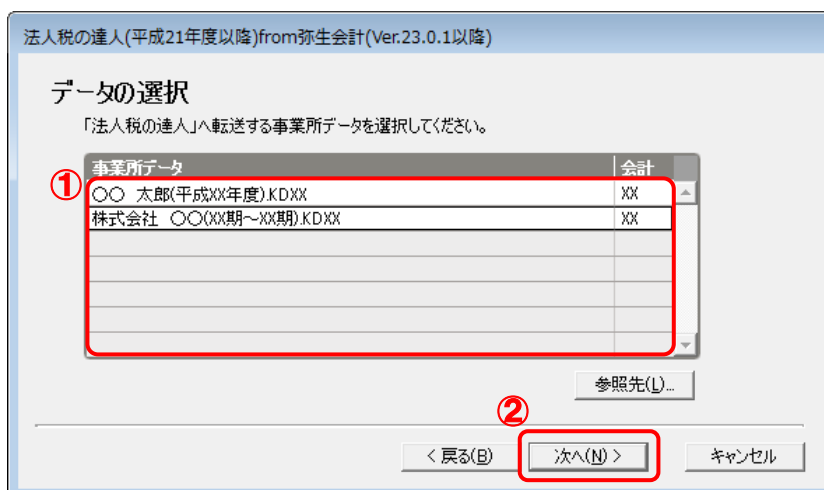
- ※ 弥生会計 17がインストールされている場合、弥生会計 17、弥生会計 16、弥生会計 15、弥生会計 14、弥生会計 13、弥生会計 12、弥生会計 11、弥生会計 10で作成された事業所データを選択できます。
- ※ [弥生オンラインの事業所データを転送する] は、弥生会計 17 AEの場合のみ表示されます。
- ※ 弥生ドライブ上のデータを選択したい場合は、[弥生ドライブにある事業所データを転送する] を選択します。弥生ドライブが起動するので、連動する事業所データをダウンロードしたうえで、[参照先] からファイルを指定してください。



※ 弥生会計 オンラインのデータを選択したい場合は、[弥生オンラインの事業所データを転送する] を選択します。弥生 マイポータルが起動するので、連動するデータをダウンロードしたうえで、[参照先] からファイルを指定してください。



5. 「法人税の達人」に取り込む「弥生会計」のデータをクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



[処理年度の選択] 画面が表示されます。

6. 手順5で選択したデータの処理年度をクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

処理年度を選択

「法人税の達人」へ転送する処理年度を選択してください。

① 決算期	会計期間
第XX期	H.XX/XX/XX~H.XX/XX/XX
第XX期	H.XX/XX/XX~H.XX/XX/XX
第XX期	H.XX/XX/XX~H.XX/XX/XX

②

<戻る(B)> **次へ(N)>** キャンセル

[決算の種類の選択] 画面が表示されます。

※ 手順5で選択したデータの会計期間が複数存在しない場合は、手順6の画面は表示されません。手順7に進んでください。

7. 「弥生会計」から出力するデータの決算対象となる期間を選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

決算の種類の選択

「法人税の達人」へ転送する決算対象となる期間を選択してください。

①

本決算(H)

中間決算(上半期決算)(C)

月次決算(G)

期間(O) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決

②

<戻る(B)> **次へ(N)>** キャンセル

[転送データの作成] 画面が表示されます。

※ 画面は [本決算] を選択しています。

8. [作成開始]ボタンをクリックします。

法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

転送データの作成

作成するデータの名称を入力してください。

場所: C:\Users\tatsuzin\AppData\Local\Temp\

名称(N): Hj21TEMPX

参照(S)...

[作成開始]ボタンをクリックすると、「法人税の達人」へ転送するデータを作成します。

< 戻る(B) 作成開始 キャンセル

[転送データの作成完了] 画面が表示されます。

9. [完了]ボタンをクリックします。

法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

転送データの作成完了

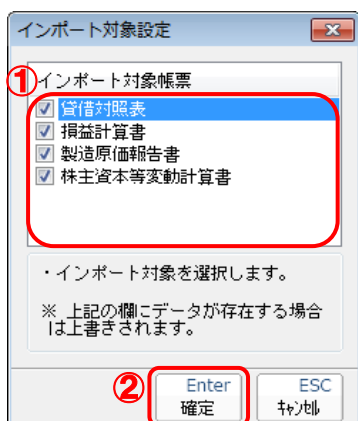
「法人税の達人」へ転送するデータの作成を完了しました。

完了]ボタンをクリックしてください。

< 戻る(B) 完了 キャンセル

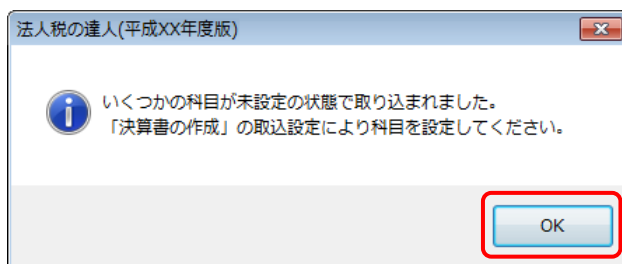
[インポート対象設定] 画面が表示されます。

10. [インポート対象帳票]を設定し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



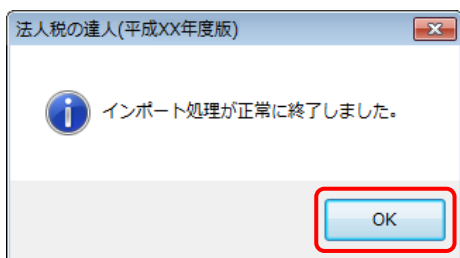
取込設定についてのメッセージが表示されます。

11. [OK]ボタンをクリックします。



終了画面が表示されます。

12. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成（中間ファイルの作成）が終了すると同時に、「法人税の達人」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



連動後には、「法人税の達人」側で取込設定を行う必要があります。詳細な手順については『法人税の達人 運用ガイド』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

パターン②

「弥生会計」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

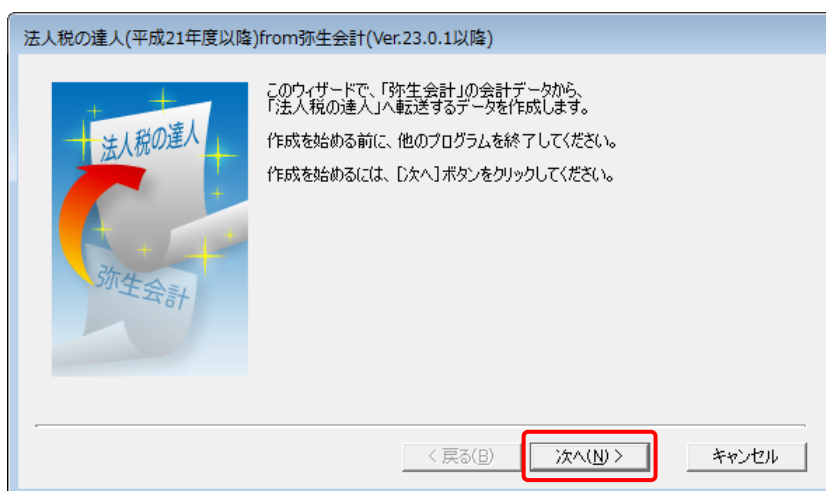
1. Windowsのスタートメニュー[すべてのプログラム]―[達人シリーズ]―[連動コンポーネント]―「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計」をクリックします。

[法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)]画面が表示されます。

※ Windows 10の場合は、Windowsのスタートメニュー [すべてのアプリ] ― [達人シリーズ] ― [連動コンポーネント] ― [法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)] をクリックします。

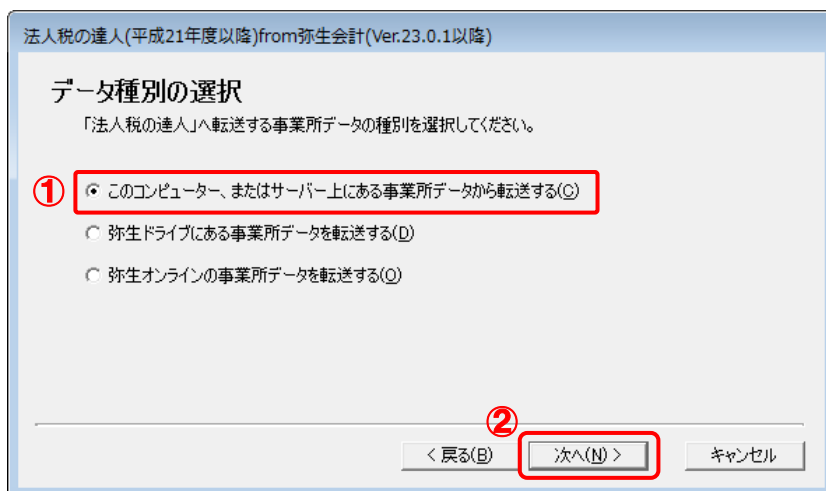
Windows 8.1の場合は、[アプリ]画面に表示されている[法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)] をクリックします。

2. [次へ]ボタンをクリックします。



[データ種別の選択]画面が表示されます。

3. [このコンピューター、またはサーバー上にある事業所データから転送する]をクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

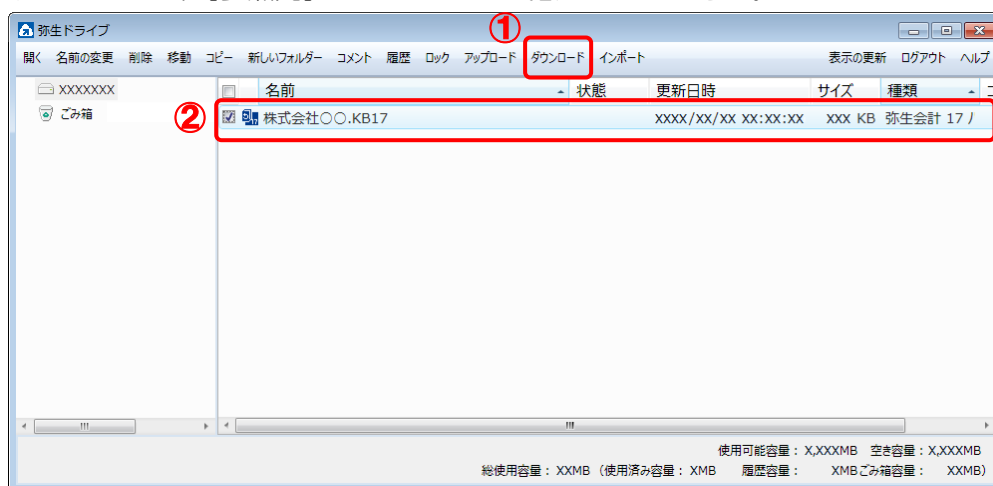


[データの選択] 画面が表示されます。

※ 弥生会計 17がインストールされている場合、弥生会計 17、弥生会計 16、弥生会計 15、弥生会計 14、弥生会計 13、弥生会計 12、弥生会計 11、弥生会計 10で作成された事業所データを選択できます。

※ [弥生オンラインの事業所データを転送する] は、弥生会計 17 AEの場合のみ表示されます。

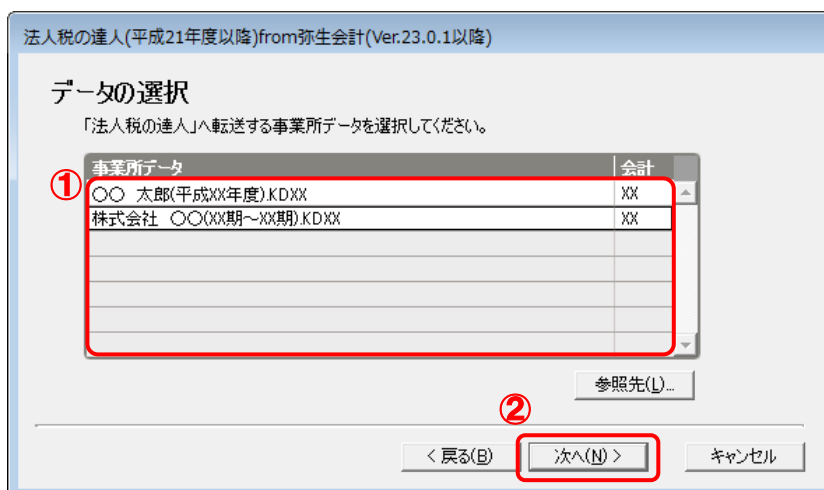
※ 弥生ドライブ上のデータを選択したい場合は、[弥生ドライブにある事業所データを転送する] を選択します。弥生ドライブが起動するので、連動する事業所データをダウンロードしたうえで、[参照先] からファイルを指定してください。



※ 弥生会計 オンラインのデータを選択したい場合は、[弥生オンラインの事業所データを転送する] を選択します。弥生 マイポータルが起動するので、連動するデータをダウンロードしたうえで、[参照先] からファイルを指定してください。



4. 「法人税の達人」に取り込む「弥生会計」のデータをクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



[処理年度の選択] 画面が表示されます。

5. 手順4で選択したデータの処理年度をクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

処理年度を選択

「法人税の達人」へ転送する処理年度を選択してください。

① 決算期	会計期間
第XX期	H.XX/XX/XX~H.XX/XX/XX
第XX期	H.XX/XX/XX~H.XX/XX/XX
第XX期	H.XX/XX/XX~H.XX/XX/XX

②

[決算の種類の選択] 画面が表示されます。

※ 手順4で選択したデータの会計期間が複数存在しない場合は、手順5の画面は表示されません。手順6に進んでください。

6. 「弥生会計」から出力するデータの決算対象となる期間を選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)

決算の種類の選択

「法人税の達人」へ転送する決算対象となる期間を選択してください。

①

本決算(H)
 中間決算(上半期決算)(C)
 月次決算(G)

期間(O) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決

②

[転送データの作成] 画面が表示されます。

※ 画面は [本決算] を選択しています。

7. [場所]と[名称]を確認し(①)、[作成開始]ボタンをクリックします(②)。

[転送データの作成完了] 画面が表示されます。

※ 画面の[場所]の初期値はOSにより異なります。[C:\Users¥(ユーザー名)\Documents]

又は [C:\Documents and Settings¥(ユーザー名)\My Documents] です。

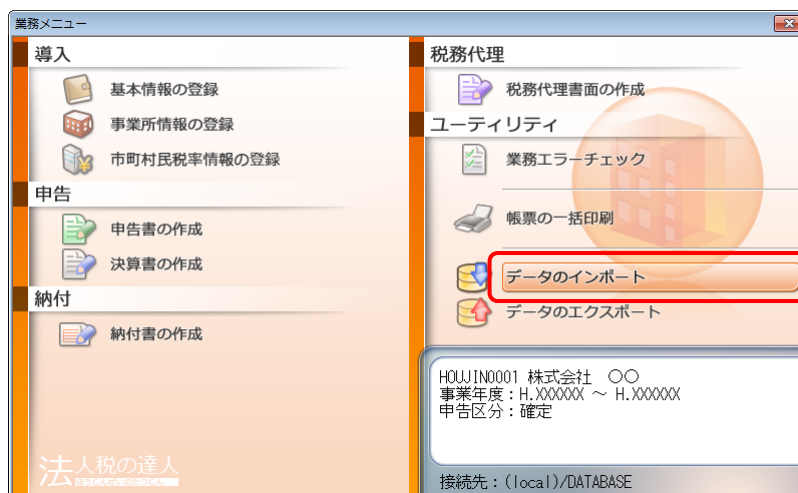
※ [参照] ボタンをクリックして表示される画面から変更できます。

8. [完了]ボタンをクリックします。

手順7で指定した [場所] に、中間ファイルが作成されます。

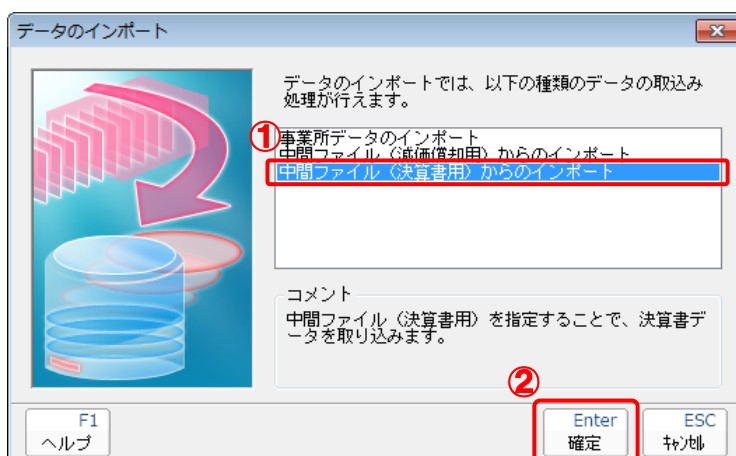
9. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「法人税の達人」がインストールされているコンピュータに移動します。

10. 「法人税の達人」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー-[データのインポート]をクリックします。



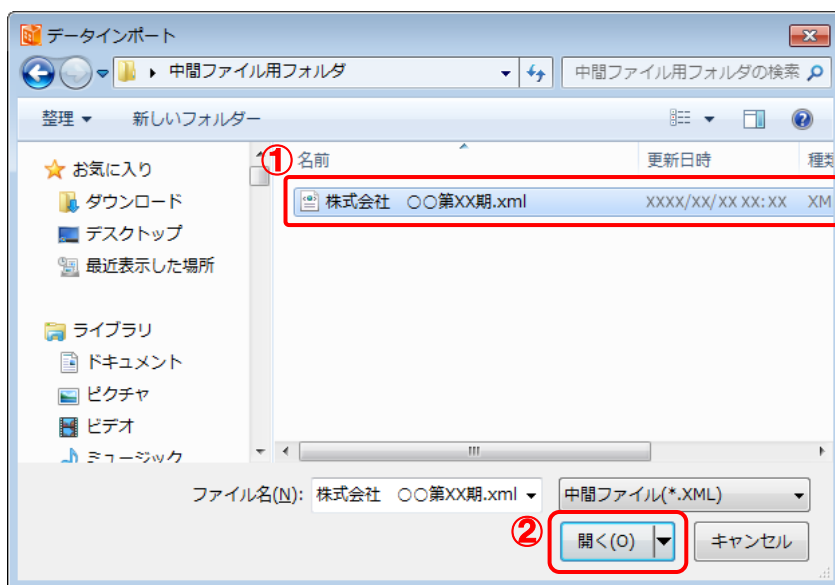
[データのインポート] 画面が表示されます。

11. [中間ファイル(決算書用)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



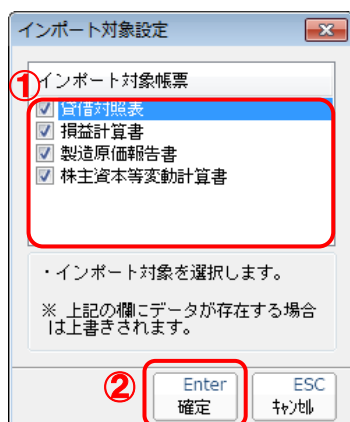
[データインポート] 画面が表示されます。

12. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



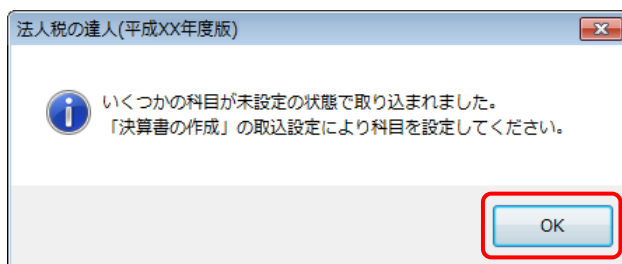
[インポート対象設定] 画面が表示されます。

13. [インポート対象帳票]を設定し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



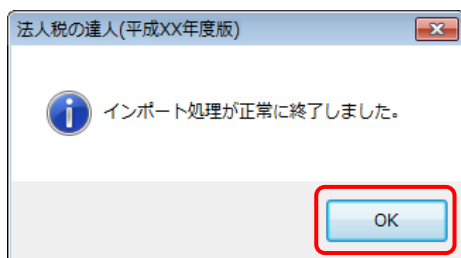
取込設定についてのメッセージが表示されます。

14. [OK]ボタンをクリックします。



終了画面が表示されます。

15. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「法人税の達人」側で取込設定を行う必要があります。詳細な手順については『法人税の達人 運用ガイド』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

6.連動対象項目

「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計」では、「弥生会計」の決算書よりデータを取り込みます。

「弥生会計」から連動するデータ(連動元)

「弥生会計」からはメニューバー [決算・申告] - [決算書作成] で作成される決算書のデータが連動されます。

The screenshot shows the '決算書作成(K)...' menu option highlighted with a red box. A red arrow points from this menu option to the '貸借対照表' (Balance Sheet) window. The window displays the following data:

貸借対照表		平成XX年XX月XX日 現在		(単位: 円)	
株式会社 ○○					
資産の部					
【流動資産】					
現金及び預金		287,540,878			
受取手形		7,755,951			
売掛金		40,180,270			
貸倒引当金		-314,805			
商票		24,500,000			
半製品		2,731,000			
原材料		458,600			
仕掛品		240,000			
立替金		325,715			
未取収益		300,000			
貸払消費税等		17,309,227			
		流動資産合計		351,024,736	
【固定資産】					
【有形固定資産】					
建物		19,581,200			
建物附属設備		217,008			
機械装置		225,410			
車両運搬具		484,228			
工具器具備品		809,397			
一括償却資産		124,200			
土地		25,000,000			
		有形固定資産合計		46,581,465	
【無形固定資産】					
電話加入権		150,000			
		無形固定資産合計		150,000	
【投資その他の資産】					
投資有価証券		3,000,000			
関係会社株式		500,000			
出資金		700,000			

「法人税の達人」に連動するデータ(連動先)

「法人税の達人」に連動する帳票は以下のとおりです。次ページ以降の各画面の網掛け部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表
損益計算書
製造原価報告書
株主資本等変動計算書
社員資本等変動計算書



注意

次のような制限事項がありますので、転送するデータを作成する前に必ず確認してください。

- 個別注記表について
弥生会計で作成した注記表は、法人税の達人には取り込まれません。
- 【 】 や () について
弥生会計の決算書項目の 【 】 や () は転送データ作成時に取り除かれます。
- 製造原価報告書の「他勘定振替高」について
法人税の達人では、「他勘定振替高」は「期末仕掛品棚卸」区分で処理されます。
- 「繰越利益」の金額について
通常、弥生会計の決算書の金額を法人税の達人に転送(出力)します。ただし、「繰越利益」の金額は、決算書の金額ではなく、勘定科目の「繰越利益」の残高を転送(出力)します。
そのため、弥生会計の決算書に表示される「繰越利益剰余金」の金額と異なる場合があります。
- 株主資本等変動計算書の勘定科目について
貸借対照表の以下の決算書項目区分に属する勘定科目については、法人税の達人には出力されません。
「新株式申込証拠金」「自己株式申込証拠金」
貸借対照表の「任意積立金」区分に追加されている決算書項目で、法人税の達人の勘定科目と一致しないものについては、法人税の達人には出力されません。
- 株主資本等変動計算書の変動事由について
法人税の達人に値を取り込むことができる変動事由は、弥生会計で初期提供している項目、または、法人税の達人で初期提供されている変動事由と名称が一致する項目です。
ただし、弥生会計で初期提供している変動項目のうち、「剰余金からの振替」については、法人税の達人には出力されません。法人税の達人側で変動事由を選択し、金額を入力してください。
また、「企業結合による増加」「資本金からの振替」「準備金からの振替」は、以下のように法人税の達人の変動項目が割り当てられインポートされます。

【弥生会計での変動事由】	【法人税の達人側での変動事由】
・企業結合による増加	合併による増加
・資本金からの振替	資本金から剰余金への振替
・準備金からの振替	準備金から剰余金への振替

他の変動事由を割り当てたい場合は、法人税の達人で設定を変更してください。

なお、法人税の達人では勘定科目に対して設定できる変動事由が固定されています。

弥生会計で作成した株主資本等変動計算書のデータを法人税の達人に取り込むと、勘定科目と変動事由の組み合わせによっては、取り込まれない変動事由が出てくる場合があります。

- ・ 「新株予約権」区分に勘定科目が複数存在する場合

[科目設定] の貸借科目で「純資産の部」の「新株予約権」区分に勘定科目が複数存在する場合、1番目の勘定科目のみが明細に出力され、2番目以降の勘定科目は明細に出力されません。

ただし、「前期末金額」「変動金額」「当期末金額」の合計値にはすべての勘定科目の金額が出力されるため、「純資産の部」の合計金額と明細金額の合計が異なる場合があります。

- ・ 社員資本等変動計算書について

「弥生会計」での科目提供等はありません。

貸借対照表

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
資産の部		資産合計
流動資産		流動資産合計
当座資産		
現金及び預金		現金及び預金合計
現金		
小口現金		
預金		
当座預金		
郵便振替貯金		
普通預金		
郵便貯金		
通知預金		
納税準備預金		
貯蓄預金		
その他の流動性預金		
定期預金		
定期積金		
積立預金		
別段預金		
特定金銭信託		
その他の固定性預金		
その他の預金		
受取手形		総額

金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F5 企業情報
 F7 利益処分
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

損益計算書

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
営業活動による収益		
商品売上高		純額
商品総売上高		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 商品売上の値引戻り
製品売上高		純額
製品総売上高		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 製品売上の値引戻り
半製品売上高		
副産物売上高		
作業くず売上高		
割賦販売売上高		純額
割賦総売上高		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 割賦販売売上の値引戻り
賃貸収入		純額
賃貸総収入		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 賃貸収入の値引戻り
加工料収入		
完成工事高		純額
兼業事業売上高		純額
兼業売上高		
兼業売上値引戻り高		
兼業売上割戻		
商品製品等売上高		純額

金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない

金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

製造原価報告書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
仕入原価		
期首たな卸高		
商品仕入高		
仕入値引・戻し高		
合計		
期末たな卸高		
材料費		当期材料費合計額を登録
期首原材料たな卸高		
当期原材料仕入高		
非課税原材料仕入		
薬品仕入高		
診療材料仕入高		
給食材料仕入高		
医療消耗備品仕入高		
原材料仕入値引戻し高		プラスの金額を登録
原材料割戻し高		プラスの金額を登録
その他の原材料仕入高		
合計		
期末原材料たな卸高		プラスの金額を登録
主要材料費		
補助材料費		
労務費		当期労務費合計額を登録
建設労務費		

金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F5 企業情報
 F7 利益処分
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

株主資本等変動計算書等

📄 株主資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
株主資本		
資本金		
前期末残高		
当期変動額		
新株の発行		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高		
当期変動額		
新株の発行		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
国庫等補助金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		
当期末残高		
指定寄付金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		

金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

社員資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 **社員資本等変動計算書** 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
社員資本		
資本金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
国庫等補助金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		
当期末残高		
指定寄付金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		
当期末残高		
その他資本剰余金		

金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F5 企業情報
 F7 利益処分
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

7.アンインストール方法

「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に[ユーザーアカウント制御]画面が表示されることがあります。その場合は[はい]ボタンをクリックして作業を進めてください(必要に応じてパスワードを入力します)。

- 1. Windowsのスタートメニュー[コントロールパネル]をクリックします。**

[コントロールパネル]画面が表示されます。
※ Windows 10の場合は、Windowsのスタートボタンを右クリックし、表示されるメニューから[コントロールパネル]をクリックします。
Windows 8.1の場合は、[アプリ]画面に表示されている[法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)]を右クリックし、[アンインストール]をクリックし、手順3に進みます。
- 2. [プログラムのアンインストール]をクリックします。**

[プログラムのアンインストールまたは変更]画面が表示されます。
- 3. [法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)]をクリックして選択し、[変更]ボタンをクリックします。**

[InstallShield Wizard]画面が表示されます。
- 4. [次へ]ボタンをクリックします。**

[プログラムの保守]画面が表示されます。
- 5. [削除]を選択した状態で、[次へ]ボタンをクリックします。**

確認画面が表示されます。
- 6. [削除]ボタンをクリックします。**

アンインストールが開始されます。
- 7. アンインストールの完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。**

以上で、「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

『弥生』は弥生株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SQL Server、Internet Explorer、Outlook、Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe Reader、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載された会社名および製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

本文中、®マークは明記しておりません。

使用許諾契約書に関しては[こちら](#)をご覧ください。

法人税の達人(平成21年度以降)
from弥生会計(Ver.23.0.1以降)運用ガイド

平成28年10月13日初版
